


今年の初ゆめは
オール5をして
スキーもうまくなる
ゆめを見たいで
す。

今年もよい年であるよ
うに願います。

健康な体になる
目

藤田誠

昭和46年生・城西小学校





社会人としてのスタート
を切り、目まぐるしく過ぎ
去った1982年。教師
として初めて出会った子
どもらは偶然にもい
しし年の五年生。

この子らといっしょに新年を迎えようれし
さは言葉では言い尽くせない。
誰にでも真心をもって接することのでき
る人間。うつむく人の心の痛みを感じとれ
る人間。希望を捨てず自己の限界まで挑
む人間の姿を求め、子どもらとともに一歩
一歩近づいていき
たい。

この年の始めに
自分自身に誓っている。

高山 妃智美

猪突進
猪武者のいっしょ
どまり目的に向って
まっしぐら 今年いがんばります

日景鞠

昭和34年生・田代町

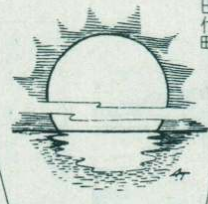


きびしい明日に向かって
ファイト・ファイトで
がんばります
わよ

1983


天下町

安藤左絵子



農業まじり多き情勢は
益々厳しさを増しています
どんなに世相があまら
変わろうとも、大らかな人間愛
豊かな心は失たないでい
念じています。

伊藤綾子




昭和10年生・下川原



近

今年はどうぞ

あけましてお
市民の皆さん
お祈り申し上げ
1年の計は
民の皆さんから
ていただきます




煙草Eやめろと5年
セーフな目標E達成は57です。

この年は 社会一員として 有意義な行動Eとれる
様に、又、知識E限りの吸収Eできる 持ち
研鑽Eしたいと思つて、
また
心からの景気E回復E向EとE祈ります。


時 苗 誠

昭和22年生・根下戸



来たぞ!! 私の年が。
今年「あはれ」走るぞ。
勉強にエポーツに
そして中学生に。

日景線



昭和46年・釈道内小学校



▲長木公民館で行われた
わらべ唄の集い

子どもの頃の楽しみとい
えは、いちばん先に正月が
あけられる。
お手玉をしたり紙風船を
飛ばしながら唄い、もうそ
こまでやってきている正月
の喜びを想像して元気がい
っぱい雪の上を駆け回ったの
である。(白沢から採集)

正月迎え唄

正月とこまできた
橋のたもとまできた
なにおみやげ持ってきた
ユズの葉に五葉松もつてきた

道具として二十センチくらいに切った割り竹を十数
本用意する。十数本の竹を立て、唄に合わせてころぶ
瞬間に与えられた数だけをにぎり取る。「五にぎり」
の場合には五本をにぎり取る。なかなか技術と事前の
練習量が要求される遊びである。(旧市内から採集)

竹かぞえ唄

一にぎり
二にぎり……十にぎりまで続ける。

いつやのむすこさん
ななやでやっこらさ
こころへん んで大阪見物一かん

豆と豆との間隔がせまければ貝の容器が両方の豆に
当たってしまうので、じょうずに工夫しなければならな
い。「いちやちや」で一つ「にちや」で二つとその数だ
け拾って行くのが隣りの豆に当たると失格だ。(長木から
採集)

大館の伝承わらべ唄
正月遊び唄から

長木小学校教諭 河田竹治

わたしたちの祖先が、わたしたちのために残して
くれた貴重な文化遺産であるわらべ唄を、童心にかえつ
て家族でこの正月楽しんでいただきたいものです。

豆すくい唄

いちやちや
にちやちや
さんちや
さんちや

これが十まで続いたり、「さんちや」で終わったり
する。遊びの方法は、いろいろな豆を集め、それをば
らまいて貝ですくいあげる。

拾ってきた貝を豆がたくさん入るようにコンクリー
トや石にこすりつけてへらし、すくいやすいような形
になる。